

【庶務報告】

平成 23 年度 第 1 回役員会

議事録抜粋

日時：平成 23 年 5 月 27 日（金）17:15～19:05

場所：和洋女子大学 南館 9F

出席者：15 名

議事：

1. 報告事項

- 1) 平成 23・24 年度役員報告。資料 1
- 2) 第 29 回セミナー開催報告（平成 22 年 8 月 27・28 日、於神戸女子大学教育センター。参加者 50 名。1 日目：講演と懇親会。2 日目：講演と事例研究発表。播州織のバスツアー。参加者 35 名）。
- 3) H22 年度決算の報告。収支計算書、貸借対照表、現金残高調書、監査報告書。
- 4) H22 年度事業報告。H22 年度の活動助成金 100,000 円を親学会から助成頂いた。
- 5) 企画：公開講座を来年度開催する場合は、科研費を今年度申請する必要がある。科研費申請は企画の担当と考えられるため、公開講座を来年度開催するか否かの意向を知りたい。そこで公開講座の開催については、審議事項で話し合うこととした。
- 6) 編集 第 31 号の発行（準備状況）：
部会報（リニューアルして 3 年目）の形式は昨年、一昨年と同様。原著論文を明日の総会で募集し、かつメールでの募集も配信する。
- 7) 会計 会費納入の状況：
会費は総会時に徴収し、未徴収者には総会後に請求書を送る。賛助会員は既に会費納入済み。
- 8) 庶務 会員の動向：
資料 2 に基づき、会員動向が説明された。
- 9) ホームページ：
・HP がリニューアルされたことが報告された。
- 10) 部会誌発行 30 周年記念事業準備状況（実行委員長 諸岡晴美先生）：
部会誌の特別号は、編集が進行中。発行は 8 月で、セミナーで配付予定。また、シンポジウムは、セミナー中日の 8 月 30 日に実施予定。仮テーマは「被服衛生学の未来を語る」で、大学・企業・試験場をパネラーとし、被服衛生学がこれからどうあるべきかを討論する。なお、教科書（単行本）は、8 年前の「衣服と健康の科学」の新版とする。10 月頃に発行し、来年度の教科書採択を目指す。

- 1 1) 第 30 回被服衛生学セミナー準備状況（大会長 小柴朋子先生）：
 - ・8 月 29 日（月）夕方～31 日（水）午前で開催する。29 日のスタート時間を相談したい。
 - ・名古屋から戸狩野沢温泉まで約 4 時間、東京から戸狩野沢温泉まで約 3 時間半を要する。戸狩野沢温泉から北竜館までは、送迎マイクロバスを出すことが可能。
 - ・総合テーマは「災害と被服」。防護服の知識や、阪神淡路大震災での調査による提言の生かされ方の検証、備蓄に関する内容など。
 - ・文化北竜館の宿泊費は 1 泊 2 食込み 10,000 円程度。本館は最大 60 名が宿泊可能。旧館（別館）は学生用だが、1 フロアをとっており宿泊可能。
- 1 2) その他：特になし。
2. 審議事項
 - 1) 部会則附則の一部改正案について：
 - ・資料 4 に基づき、庶務と会計の変更に伴う被服衛生学部会内規の改正案が説明された。この改正案を総会に諮ることとした。
 - 2) H23 年度予算案について：
 - ・報告 3) に引き続いて配付資料（収支予算書）に基づき、H23 年度予算案が説明された。
 - ・“学会誌等刊行費”が 400,000 円で、昨年度 150,000 円より多く計上しているが、運搬費用を多めにとっているためである。学会誌は例年通り 150,000 円と考えてよいかとの質問があり、例年通りとの回答があった。
 - ・“他会計からの繰入金収入”科目の活動助成金 100,000 円は、予算案の作成当初、見込で計上したが、3 月に 100,000 円が確定した。
 - 3) 名誉会員の推挙について：
 - ・名誉会員の規約はあるが、10 年間推挙していない。会員暦 20 年以上の会員を調べ、退会と他界を除いた資料 5 の 3 名を推薦する旨が説明された。この 3 名の推薦を総会に諮ることとした。
 - 4) セミナー開催案（開催順：東北、関東、中部、九州、関西、半数の会員は関東に所属）：
 - ・セミナーの開催順について問題が提起され、これについて、次のような意見が出された。
 - ・セミナーは東北、関東、中部、九州、関西の順に開催されている、今年は 30 周年のため開催順の東北を変更し関東とした。次回セミナー開催は東北であるが、大震災の影響で難しい。

- ・資料1から、東北の部会員数が少なく、関東がほぼ半数を占める。構成割合が少ない地区は、同一人の担当数が増え、負担が大きい。各回で関東にする等、関東開催数を多くできないか。
- ・関東の部会員数が多いが、その会員の所属は文化女子大が多く、大学数はそれほど多くない。
- ・地区を東北・関東として、一つにしてはどうか。
- ・3年に1回は関東にする案はどうか。
- ・地区でセミナーを担当しても、実際は実施する大学の部員しか動けない。
- ・来年度は中部地区の担当でどうか。
- ・来年度は新潟で開催をお願いできないか。
- ・今年は関東の担当であるが、場所は長野である。来年度、もし中部地区の長野となると、長野が2年続くが良いか。
- ・場所が重複でも、テーマが重複しなければ良い。
- ・長野が続く意見があったときの選択肢として、関東で担当がいれば、東京開催もよい。

5) 第31回被服衛生学セミナーについて：

- ・3)の意見をふまえ、明日の総会では、「第31回セミナーは中部地区あるいは関東地区で調整中であり、8月の臨時総会で決める」提案を示すこととした。

6) その他：

①公開講座について：

公開講座は来年度実施する方向で、今年度の科研費を申請することとした。この件について、次のような意見等があった。

- ・開講座は被服衛生学部の社会的責任を果たす場である。
- ・科研費に申請し、採択されなかったら、公開講座を実施しないということではどうか。
- ・公開講座では聴講集めが大変。
- ・新潟で開催してもよい。ただ、担当が企画役員に決まっているのであればそれでよい。
- ・科研費の申請は企画で行っても、公開講座の会場を新潟にしてもよいのではないか。
- ・会場が決まっていないと申請しにくいので、担当を決めた方がよいのではないか。
- ・公開講座の講演を引き受けてくれるよう、部会の先生方に協力を願う。

②30周年記念誌と部会費請求書の発送方法について

送料節約のため、30周年記念誌は12月に部会報と一緒に発送してはどうかとの提案があった

が、発刊後数ヶ月も遅れることは望ましくないとこの結論に至り、部会報と別途に発送することとした。ただし、請求書は部会報と合わせて発送することとした。また、送料の費用の節約に関連し、部会費を3,000円に値上げしてもよいのではないかとの意見があった。これについて、次のような意見があった。

- ・部会費2,500円は安い方ではない。他の部会の状況を調べてみる必要がある。
- ・今後、PDFで電子化すれば経済的に楽になるであろう。会員も非会員も見られるが。
- ・名誉会員が増えてくると部会は経済的に厳しくなるが、寄付金や支援金という形でお願いすることもあるのではないか。
- ・衛生学部会は、会報をきちんと発行しており、他の部会と状況が違うのではないか。

(文責：菊池)

平成23年度 第1回日本家政学会被服衛生学部会総会議事録

議事録抜粋

日時：平成23年5月28日(土) 12:20~13:30

場所：和洋女子大学西館3階H会場

出席者：19名

議事：

1. 報告事項

1) H23・24年度役員について

三野先生より資料1に基づいて報告。

2) 第29回被服衛生学部会セミナーについて

大会長の平田耕造先生がご欠席のため、代理で三野先生が平成23年度第1回日本家政学会被服衛生学部会総会資料ファイル内の「第29回被服衛生学部会セミナー概要報告」に基づいて報告された。

3) H22年度決算報告について

内田先生より別紙(被服衛生学部会)収支計算書、貸借対照表、預金残高調書に基づいて報告された。引き続き、岩崎先生よりH22年度決算について正確であるとの監査報告がなされた。

4) H23年度予算案について

内田先生より別紙(被服衛生学部会)収支予算書に基づいて報告された。

5) H22年度事業報告について

三野先生より平成23年度第1回日本家政学会被服衛生学部会総会資料ファイル

内の「平成 22 年度事業報告」に基づいて報告された。

6) 企画

潮田先生より、部会報第 31 号の発行、第 30 回被服衛生学セミナーの開催、部会誌発行 30 周年記念号および平成 24 年度公開講座開催のための科研費予算申請について報告された。

7) 編集 第 31 号の発行（準備状況）

甲斐先生より別紙編集関係資料に基づいて報告された。

8) 会計 会費納入の状況

内田先生より、賛助会員 3 名に会費納入催促を行った旨の報告があった。また、部会報の発送時に振り込み用紙を同封することの報告があった。

9) 庶務 会員の動向

三野先生より資料 2 に基づいて報告された。質問が 2 件あり、1 件は資料の誤植についてであり、平成 10 年を 2010 年に訂正した。もう 1 件は中里先生についてであり、記載内容を確認することとなった。（後日、記載内容はご本人の希望によるものであることが確認された。）

1 0) ホームページ

平林先生よりホームページのリニューアルについて報告された。

1 1) 部会誌発行 30 周年記念事業準備状況

実行委員長の諸岡先生より資料 3 および平成 23 年度第 1 回日本家政学会被服衛生学部会総会資料ファイル内の「部会誌発行 30 周年記念事業実行委員会資料」に基づいて報告された。

1 2) 第 30 回被服衛生学セミナー準備状況

大会長の小柴先生より別紙第 30 回被服衛生学セミナーに基づいて報告された。

1 3) その他

部会長より、記念特別号の印刷費について本部に第 I 期活動申請を行い、申請額 170,694 円に対して 10 万円が認められた旨の報告があった。

2. 審議事項

1) 部会則附則の一部改正案について

三野先生より事務局移転についての説明

がなされ、資料 4 の原案通りに承認された。

2) 名誉会員の推挙について

三野先生より名誉会員についての説明がなされ、資料 5 の原案通りに承認された。

3) セミナー開催案

三野先生より資料 1 に基づいて、開催順（東北、関東、中部、九州、関西）および半数の会員は関東に所属などの会員の割合について説明がなされた。東日本大震災の影響もあり、東北での開催はしばらく見合わせる事および 3 年に 1 回は関東が担当することが承認された。

4) 第 31 回被服衛生学セミナーについて

中部もしくは関東で引き受けて頂くことおよび最終決定は本年度 8 月の臨時総会で行われることが承認された。

5) その他

特になし。

（文責：堀）

平成 23 年度 第 2 回日本家政学会被服衛生学部
会役員会

議事録抜粋

日時：平成 23 年 8 月 29 日（月）14：30～15：15

場所：文化北竜館

出席者：15 名

1. 報告事項 各担当報告

1) 企画（企画担当 潮田先生）

・資料 1-1 および 1-2 に基づき、本年度の企画が報告された。

2) 編集 第 31 号の発行（編集担当 薩本先生）

・資料 2 に基づき、部会報第 31 号発行準備状況が報告された。

3) 会計 会費納入の状況（会計担当 内田先生）

・会費の納入状況の報告と納入のお願いがなされた。

4) 庶務 会員の動向（庶務担当 三野先生）

・資料 3 に基づき、会員の動向が報告された。

5) ホームページ（HP 担当 平林先生）

・ホームページを変更・更新しているので、確認されて修正等があれば連絡いただきたいとの依頼があった。メーリングリストも使用可能であると報告された。

6) 第 30 回セミナー（大会長 小柴先生）

・本年度のセミナーの参加者は、会員 42 名、企業他 15 名の合計 57 名と報告された。

- 7) 部会誌発行 30 周年記念号発刊（記念事業実行委員会副委員長 三野先生）
- ・記念号発刊が報告され、セミナー参加者には配布済みであることが連絡された。
- 8) 記念シンポジウム（記念事業実行委員会委員長 諸岡先生）
- ・第 30 回のセミナーにおける、記念シンポジウム「被服衛生学の未来を語る」開催について報告された。
- 9) 記念出版本（記念事業実行委員会副委員長 菅井先生）
- ・教科書として使用することを考慮に入れて各章の編集担当を決め、それぞれから執筆を依頼中であること、および出版社は丸善出版とミネルヴァ書房とで交渉中であることが報告された。部会長から改めて、執筆協力のお願いがなされた。

10) その他

○部会地区の確認

- ・東北・北海道地区（北海道・青森・岩手・秋田・山形・宮城・福島）
- ・関東地区（茨城，神奈川，群馬，埼玉，静岡，千葉，東京，栃木，新潟，山梨）
- ・中部地区（愛知，岐阜，三重，長野，福井，富山，石川）
- ・関西地区（奈良，京都，大阪，兵庫，滋賀，和歌山）
- ・中国・四国地区（鳥取，島根，山口，広島，岡山，香川，高知，徳島，愛媛）
- ・九州地区（福岡，佐賀，大分，長崎，熊本，宮崎，鹿児島，沖縄）

2. 審議事項

1) 第 31 回セミナー開催地

- ・部会長より、東京家政大の岡田先生から内諾を頂いている旨の報告があり、関東地区での開催で承認された。東京の先生方に協力依頼があった。
- ・東北の先生方にも入って頂きメールでご意見を伺いながら、関東+東北で担当という形にしてはどうかとの提案があり、承認された。

2) 親学会への第Ⅱ期活動 助成申請について

- ・三野先生より、第Ⅰ期は記念誌で助成を頂き、第Ⅱ期も記念出版本について申請可能

であることの説明があった。活動助成は、販売目的の出版物の刊行費用には申請できないが、各都道府県の図書館に寄贈する費用としてならば申請可能であるので、申請してはどうかとの提案があり、了承された。9/8(木)17:00 までに申請することとなった。

3) 科学研究費補助金の申請について

- ・申請が通らなかった場合でも公開講座は開催するという提案について承認された。
- ・通らなかった場合は少し小さな規模で開催することになり、金城学院大を会場とすることとなった。

4) その他

○部会誌 30 周年記念号の送り先について

- ・三野先生より、活動助成を受けているので、広報の必要もあり、以下の送り先を提案され、承認された。

日本家政学会会長個人、全部会員、国立国会図書館(2冊)、企業等(20~30冊)

- ・送りたい企業名を三野先生まで申し出ることとなった。

○稲垣先生からのご要望

- ・原稿を準備されているので、31号に書いて頂くことになり依頼状を出すことが承認された。

○第 30 回セミナー要旨集発送について

- ・第 20 回要旨集も全員に送られたことから、第 30 回セミナー要旨集を全会員へ発送することが承認された。また、その時に部会誌発行 30 周年記念号を受け取っていない会員に同封することとなった。

平成 23 年度 日本家政学会被服衛生学部会臨時総会

議事録抜粋

日時：平成 23 年 8 月 29 日（月）18：00～18：30

場所：文化北竜館

出席者：31 名

1. 報告事項 各担当報告

1) 企画（企画担当 潮田先生）

資料 1 に基づいて報告された。なお、科学研究費補助金公開講座の申請に関しては、申請が通らなかった場合は規模を縮小して開催することも合わせて報告された。

2) 編集 第31号の発行(編集担当薩本先生)
資料2に基づいて報告された。未定部分
に関して、部会員に協力依頼があった。

3) 会計 会費納入の状況(会計担当内田先生)
会費納入状況の報告と納入のお願いが
なされた。

4) 庶務 会員の動向(庶務担当 三野先生)
会員の動向が以下の通りであることが報
告された。

名誉会員：12名、国内会員：79名、国外会
員：2名、学生会員：8名、賛助会員：3名
2011年度 入会者：芝崎 学、張 静風、
朴 敬淳

2011年度 退会者：太田 麻未

5) ホームページ(HP担当 平林先生)
ホームページを変更・更新しているので、
意見・ミス等があれば連絡いただきたいと
の依頼があった。

6) 第30回セミナー(大会長 小柴先生)
本年度のセミナーの参加者は、会員42
名、企業他15名の合計57名であること、
および4社の企業展示があることが報告さ
れた。

7) 第31回セミナー
会長より、第31回セミナーは関東地区
+東北地区で開催すること、および実行委
員長は東京家政大の岡田先生に内諾を頂い
ている旨の報告があった。

8) 部会誌発行30周年記念事業(記念実行
委員会委員長 諸岡先生)
記念事業について以下の通り報告された。

- ・部会誌発行30周年記念号発刊
- ・記念シンポジウム「被服衛生学の未来
を語る」開催
- ・記念出版本一教科書として使用するこ
とを考慮した内容

9) その他

○部会地区の確認

- ・東北・北海道地区(北海道・青森・岩
手・秋田・山形・宮城・福島)
- ・関東地区(茨城、神奈川、群馬、埼玉、
静岡、千葉、東京、栃木、新潟、山梨)
- ・中部地区(愛知、岐阜、三重、長野、
福井、富山、石川)
- ・関西地区(奈良、京都、大阪、兵庫、

滋賀、和歌山)

・中国・四国地区(鳥取、島根、山口、
広島、岡山、香川、高知、徳島、愛媛)

・九州地区(福岡、佐賀、大分、長崎、
熊本、宮崎、鹿児島、沖縄)

2. 審議事項

1) 親学会への第Ⅱ期活動助成申請について
三野先生より、第Ⅰ期は記念誌で助成を
頂き、第Ⅱ期も記念出版本について各都道
府県の図書館に寄贈する費用として申請す
ることの説明がなされ、原案通り承認され
た。

2) その他
特になし。

資料1

1) 企画

- ・第30回セミナーの開催
- ・第31回セミナーの準備
- ・部会誌31号の発刊
- ・30周年記念企画
- ・科学研究費補助金公開講座の申請
 - 開催時期 平成25年3月
 - 開催場所 関西地区(兵庫県神戸市
神戸ファッション美術館(予定))
 - テーマ：衣服と健康の科学、最前線
 - 内容：「新版 衣服と健康の科学」
(仮名)を元にした講演とポスター発表
 - 5月以降に企画、部会長、副部会長、
開催地区近隣の部会員にて実行委
員会を結成し、講座の開催を準備す
る。

資料2

- 2) 編集…『被服衛生学』31号発行準備状況
発行予定：平成24年1月
巻頭言：諸岡晴美先生(副部会長)
総説：水野一枝先生「高温環境と睡眠」
原著論文：1件の申請あり。もう1本
ほど募集
原稿締め切り：11月15日。
研究室紹介：未定。
海外レポート：若林先生
H22年度被服衛生学セミナー報告：平
田耕造先生